

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2010.2.6 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

●報恩講ほとけの子の集い 一本仕込みの心ー



去る12月25日、恒例の安芸南組（60ヶ寺）報恩講ほとけの子の集いが行われ、約百名のほとけの子が集まりました。

今年は、山口県岩国市から周防猿回し一座の「こつ平」

お兄さんとお猿の「夏水」くん（5歳）に来ていただきました。

私は、見るまでは、サーカスで虎をあやつるのも、この猿回しも、特に違いを考えたことはありませんでしたが、

この猿回しを見て、日本古来の猿回しの素晴らしを知りました。現代の猿回しは、猿を

仕込むのに棒でたたいたり、電機ムチでビリッとやったりして仕込むのだそうで、そのため身体に傷がでたり、ストレスで毛が抜けたりしているので、服を着ている猿は大概そうやって仕込んでいるということでした。

日本古来の猿回しは、棒でたたかずに仕込むのだそうで、だっこしながら育てる、すると人間と猿の気持ちが相互に通じ合う。上下関係ではなく、対等な家族として、家族が「喜ぶから」残りの家族が芸をやる、というような仕組みなんだそうで、これを「本仕込み」というそうです（お酒みたいですね）。だから、猿をたたかないので、小さな椅子に座らせるのも一年もかかるそうです（つまり仕

込む方は、手を上げずに一年もの間じっと我慢するということですね・驚。今この猿回しがで

きるのには日本で3人しかいないそうです。実は、戦争中で全面禁止になって、一度全く途絶えてしまっていたそうですが、約30年前、生き残ったおじいさんから技を学び、かろうじて伝わっているということでした。

ちなみに、このように育った傷のない猿を「花ザル」「花最高・美のように美しい猿」といって、昔は見る方もよく知っていて、芸の仕方、猿の毛並みを見て「よっ、花ザル」と、かけ声が飛んだそうです。最後に、今日は機嫌がよいということで、奥義の二つ「風車」を見せてくれました。猿は両手を握られると、自由が奪われるので嫌うそうです



奥義風車。

手をつないで、ブラブラ。写真のように全く脱力して、ま

るで子供が親に「高い高い」をしてもらっているようです。ぐるぐる猿を回すので風車。人間と猿の絶大な信頼関係が伝わってきます。上手くてきた後は、愛情込めでだっ。

私は、子育て中ですが、なんだか自分が恥ずかしく情けなくなつて涙が出てきました。深く深く反省したことでした。

何と言って良いかわからないほどすばらしい、深く暖かい心に触れさせていただきました。



上手にできたらぎゅっ

この次は、2月21日（日）9時～10時です。

3月6日（土）9時～10時は、日校卒業式です。みんな誘い合って参加して、心を込めて送りましょう。